

アジア諸国の現状から 国際関係を考える

全3回

新型コロナウイルス感染症や、ロシアによるウクライナ侵攻により、目まぐるしく変化する世界状況について、国際関係の現在の状況と今後の展望を分かりやすく解説します。

第1回 11月18日(土)

14:00-16:00

東アジア「平和」のつくり方
—日米韓の連携強化から考える—

外国語学部 教授 崔 慶原

第2回 11月25日(土)

14:00-16:00

「開かれた」インド太平洋
—米軍基地難民を考える—

外国語学部 教授 小池理恵

第3回 12月2日(土)

14:00-16:00

台湾史は誰のものか？
—中台関係の歴史・文化的背景—

外国語学部 教授 戸田裕司

会場 羽鳥公民館 (静岡市葵区羽鳥本町14-5)

※薬科生涯学習センター大規模改修工事による休館のため、本講座は「羽鳥公民館」で開催します。

受講料 無料

申込方法 お電話にて薬科生涯学習センターまでお申し込みください

054-278-4141

令和5年10月21日(土)
14時00分より受付開始。

定員 18歳以上20名

(先着順での受付になりますので、定員に達した時点で募集を締め切らせて頂きます)
※原則として、ご提供いただいた個人情報は、本事業の目的以外には使用いたしません。



アジア諸国の現状から国際関係を考える 全3回

〈第1回〉東アジア「平和」のつくり方 —日米韓の連携強化から考える—

11月18日(土)
14:00~16:00

ロシア軍のウクライナ侵攻以降、国連安保理が機能しない中、対露、対中政策の観点から日米韓の連携が強化されています。こうした中で北朝鮮が核ドクトリンを打ち出し、中国やロシアとの連携を強化したことで、政治的、軍事的な緊張が避けられなくなっている状況です。この対立はいつまで継続するのでしょうか。東アジアの「平和」構築に向けた日米韓の連携強化の意義とその課題について考えてみましょう。

外国語学部
グローバルコミュニケーション学科
教授 崔 慶原

〈第2回〉「開かれた」インド太平洋 —米軍基地難民を考える—

11月25日(土)
14:00~16:00

米軍基地の存在は、様々な地域の抱える不安の抑止力となっているのでしょうか。本講座では、インド太平洋のほぼ中心にあるチャゴス諸島から米軍基地を作るために強制移住させられたチャゴス難民の苦悩と帰島への戦いを考えてみましょう。

外国語学部
英米語学科
教授 小池理恵

〈第3回〉台湾史は誰のものか？ —中台関係の歴史・文化的背景—

12月2日(土)
14:00~16:00

中台関係は緊迫の度を加え、報道でも「台湾有事は日本有事」というキナ臭い言葉も見えます。本講座は、16世紀以降の台湾史を振り返りながら、台湾人の歴史意識という側面からこの問題を考えます。

外国語学部
グローバルコミュニケーション学科
教授 戸田裕司

申込方法 ※お電話にて薬科生涯学習センターまでお申し込みください。

電話申込

054-278-4141 (薬科生涯学習センター)

令和5年10月21日(土)
14:00より受付開始。

先着順での受付になりますので、定員に達した時点で募集を締め切らせて頂きます。
※原則として、ご提供いただいた個人情報は、本事業の目的以外には使用いたしません。

会場案内図

羽鳥公民館

〒421-1217 静岡市葵区羽鳥本町 14-5

バス

JR静岡駅、新静岡駅

●薬科線「羽鳥」下車、徒歩2分

駐車場

有 「羽鳥中央広場」に駐車できます。

